

ConsoleDA Agent For Server インストールガイド

マニュアルはよく読み、大切に保管してください。 製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。 このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

-目次-

1 (ConsoleDA Agent For Server インストールの前に	1
1-1	注意事項	.1
1-2	2 .NET Framework3.5 のインストール	.1
2 0	ConsoleDA Agent For Server のインストール	5
2-1	インストール	. 5
2-2	・サイレントインストール	.8
з с	ConsoleDA Agent For Server のアンインストール	9
3-1	アンインストール	.9
3-2	・ サイレントアンインストール	10
4 ¥	環境設定ファイル1	1

重要なお知らせ(注意事項)

- 本書をよくお読みになってから、製品をご使用ください。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書の内容の一部、または全てを無断で転載することを禁止します。

Copyright $\ensuremath{\mathbb{C}}$ Hitachi, Ltd. 2013 all rights reserved.

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、SQL Server は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国に おける登録商標または商標です。
- Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- その他、会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

以下、説明用画面は全て Windows Server® 2008 R2 上で実行したときのイメージです。

1 ConsoleDA Agent For Server インストールの前に

1-1 注意事項

- 本セットアッププログラムはサーバブレードにインストールしてください。
- セットアッププログラムでインストールされるプログラムは、下記以外での動作を保証しておりません。
 - Windows Server® 2012
 - Windows Server® 2008 R2 SP1
 - Windows Server® 2008 SP2 32bit
 - Windows Server® 2003 R2 SP2 32bit
 - Windows Server® 2003 SP2
- ConsoleDA Agent For Server のインストールを実行するには、インストールするサーバブレードに管理者権限を持つユーザー でログオンしてください。
- 本ソフトウェアは、サーバブレードの動作 OS 環境が工場プレインストールまたは「Product Recovery DVD」DVD-ROMを使用 して構築した OS 環境での使用を前提としています。それ以外でご使用される場合は動作保証外となりますが、「Drivers DVD」DVD-ROMに含まれる「IPMIドライバ」や「bd ハードウェアモニタ」ソフトウェアをOSにインストールしていただく必要があ ります。

1-2 .NET Framework3.5 のインストール

インストールするサーバの環境によっては、下記要件のインストール画面が表示される場合があります。これらの画面が表示された場合は、「インストール」をクリックして要件のインストールを行ってください。



<Windows Server® 2008 R2 SP1 の場合>

.NET Framework 3.5 を手動でインストールする必要があります。次の手順にしたがって.NET Framework 3.5 をインストールしてください。

1. サーバマネージャを起動してください。

2. 左メニューから[機能]を選択し、右にある[機能の追加]を選択してください。

14.サーバー マネージャー		_ _ _ ×
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘル	17(H)	
🗢 🔿 🙎 🔂		
サーバーマネージャー (CBSV-WS0 ● ??車] ● #E25F ● #E25F ● ####################################	装合 このサーバーにインストールされている機能の状態を表示し、機能を追加または削除します。	
	○ 機能の概要	👔 機能の概要ヘルプ
	 (へ) 繊維: 0/41 (個をインストール済み) 	- 現業能の通知 - 現業能の通知 - 現能の所明余
× >	最終更新日:今日 1340 更新間隔の設定	ees - دور مراجع المراجع
, _		💐 A 般 🧇 🔹 🚱 Kana

 画面最上の[.NET Framework 3.5.1 の機能]の[+]を選択し、「.NET Framework3.5.1」のチェックボックスにチェックし、[次へ(N)>]を クリックしてください。

機能の追加ウィザード		x
機能の選択		
概论 確認 通行状況 結果	Cのサーバービインストールする機能を1つ以上選択します。 機能(E)	E89月 1. A Construction A State Framework 3.5.1 で は、NET Framework 3.5.1 で アカリケーションでは、独立り合 アカリケーション・アイは、雑方内ら パートーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
	<前へ(E) 次へ(M)	> インストール(1) キャンセル

4. 「インストール(I)」をクリックしてください。



5. 「閉じる(O)」をクリックすればインストール完了です。

機能の追加	ウィザード		×
	インストールの結果		
概能 確認 進行状況 結果		 次の役割、役割サービス、または機能が正常にインストールされました 次の1件の警告メッセージ Windows 自動更新が有効になっていません。新しくインストールした役割技たは機能が自動的に更新され るようにするはよいことかしかり、パネルIの Windows Updatel を有効しててださい。 NET Framework 3.5.1 の螺旋 インストールが正常に完了しました 次の機能がインストールされました。 NET Framework 3.5.1 	
		インストール レポートの印刷。電子メール逆信、または保存	
		<前へ(2) 次へ(3) 開いる(2) キャンセル	

<Windows Server® 2012 の場合>

手動で.NET Framework 3.5 をインストールする必要があります。インターネットに接続されている場合は、コントロールパネルの「プログラムの機能」-「Windows の機能の有効化または無効化」で.Net Framework 3.5 を有効化してください。

インターネットに接続されていない場合は、OS インストールメディアや ISO イメージを用意していただく必要があります。OS インストール メディアや ISO イメージをマウントして、コマンドプロンプトより下記コマンドを実行してください。(マウント先のドライブによって「E:¥」の部 分を変更してください。)

Dism.exe /online /enable-feature /featurename:NetFX3 /All /Source:E:¥sources¥sxs /LimitAccess

.NET Framework 3.5 をインストールせずにセットアップを実行しますと、下記のエラーが表示されます。



2 ConsoleDA Agent For Serverのインストール

ConsoleDA Agent For Server は、インストールされたブレードサーバの電源状態や各種情報を ConsoleDA Manager に送信するプログラムです。

2-1 インストール

・ConsoleDA Agent For Server をインストールするには、次のように操作します。

 Hitachi bd Link Version3 /SV インストールメディアの「Installer」フォルダーにある AgentForServerSetup.exe を実行し、「次へ (N)>」をクリックしてください。



2. 「使用許諾契約」では使用許諾契約書内容をご確認の上、同意する場合は「はい(Y)>」をクリックしてください。

Cons	oleDA Agent For Server – InstallShield Wizard	<
使	用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	
	使用許諾契約書	
	お客様へ	
	「使用許諾契約書」を必ずお読みください。 ホソフトウェアのインストール、または使用をもって、本「使用許諾契約	
	書」をご承諾いただき、使用許諾契約が成立したものとさせていただきます.ご 承諾頂けない場合は _ 木ソフトウェアのインストール _ 使用を許諾できません、 ☑	
	使用許諾契約の全条項(同意しますか? にいえ)を選択するとセットアップが終了されます。 ConsoleDA Agent For Server をインストールするには、この使用許諾契約に同意が必要	
Instal	Shield	-
	【<戻る(B)】 はい(Y) いいえ(N)	

3. 「ネットワーク設定」では ConsoleDA Agent For Server で使用するネットワークの設定を入力し、「次へ(N)>」をクリックしてください。

ConsoleDA Agent For Server – InstallShield Wizard	×
ネットワーク設定 ConsoleDA Agentのネットワーク設定を入力してください。	24
ConsoleDA ManagerのIPアドレス:	
ConsoleDA Managerの受信ボート:	60000
ConsoleDA Agentの受信ボート:	60001
Windows ファイアウォールの設定:	
🔲 上記のConsoleDA Agentの受信に対応する	シファイアウォールの設定を行います。
┌冗長化構成(オブション)――――	
副ConsoleDA ManagerのIPアドレス:	
副ConsoleDA Managerの受信ボート:	60000
	(戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

入力項目の説明

ConsoleDA Manager の IP アドレス:	ConsoleDA Manager が稼働しているマシンの IP アドレス。
ConsoleDA Manager の受信ポート:	ConsoleDA Manager にコマンドを送信するときに宛先とする TCP ポート番号。
	1~65535 の範囲で指定します。
ConsoleDA Agent For Server の	ConsoleDA Agent For Server がコマンドを受信する TCP ポート番号。
安信小一下:	1~65535 の範囲で指定します。
Windows ファイアウォールの設定:	Windows® Firewall をご使用の場合は、チェックすると Windows® Firewall の設定を
	行います。
副 ConsoleDA Manager の	冗長化を行っている場合の、副側 ConsoleDA Manager が稼働しているマシンの
	IP アドレス。
副 ConsoleDA Manager の受信ポート:	副側 ConsoleDA Manager にコマンドを送信するときに宛先とする TCP ポート番号。
	1~65535の範囲で指定します。

注意	 ConsoleDA ManagerのIPアドレス欄には、必ずIPアドレスを入力してください。
	・Windows® Firewall以外のセキュリティ製品が提供するFirewallをご使用の場合は、ConsoleDA Agent For
	ServerからConsoleDA Managerの「受信ポート」(TCPポート)に接続できるよう、設定を調整してください。
	・ ConsoleDA Managerの冗長化を行っている場合は、副ConsoleDA ManagerのIPアドレス、受信ポートを必ず
	入力してください。
補足	・ 既定値のTCPポートが既に他の製品によって使用されている場合は、他のTCPポートを設定してください。

4. ConsoleDA Agent For Server をインストールするフォルダーを指定し、「次へ(N)>」をクリックしてください。

ConsoleDA A	gent For Server – InstallShield Wiza	ard		×
インストール : ファイルを-	先の選択 (ンストールするフォルダーを選択してください。			
	ConsoleDA Agent For Server のインスト C¥¥Hitachi¥ConsoleDA Agent¥			変更(<u>C</u>)
InstallShield —	[< 戻る(<u>B</u>)	(洗ヘ (N)>	キャンセル

注意	 ・デプロイ機能をご使用になる場合は、インストール先を変更しないでください。デプロイ機能について詳しく
	は、「Hitachi bd Link Version3 デプロイ機能取扱説明書」を参照してください。

5. 「インストール」をクリックし、インストールを開始してください。

ConsoleDA Agent For Server - InstallShield Wizard	<
インストール準備の完了 インストールを開始する準備が整いました。	
[インストール]をクリックしてインストールを開始してください。	
インストール設定を確認または変更する場合は、「戻る]をクリックします。ウィザードを終了するには、「キャンセル」を クリックします。	
InstallShield	-
< 戻る(B) 【ンストール】 キャンセル	

6. 「InstallShield ウィザードの完了」が表示されたら、「完了」をクリックしてセットアップを終了してください。

ConsoleDA Agent For Server -	InstallShield Wizard
	InstallShield Wizard の完了
	セットアップは、コンピューターへ ConsoleDA Agent For Server のインスト ールを終了しました。
	< 戻る(日) 完了 キャンセル

2-2 サイレントインストール

ConsoleDA Agent For Server は、GUI の操作を記録したサイレントインストール応答ファイル setup.iss 作成することにより、サイレントモード(GUI なし、ユーザーによる操作なし)によるインストールを行うことができます。

・ConsoleDA Agent For Server のサイレントインストールを行うには、次のように操作します。

- Hitachi bd Link Version3 /SV インストールメディアの Installer フォルダーにある AgentForServerSetup.exe をブレードサーバの任意のフォルダーにコピーします。
- 2. ブレードサーバに管理者権限を持つユーザーでログオンし、コマンドプロンプトを起動します。
- 3. AgentForServerSetup.exe をコピーしたフォルダーに移動します。
- 4. 「AgentForServerSetup.exe△/r」を入力・実行し ConsoleDA Agent For Server インストーラーを起動します。
 - ※ 応答ファイルの作成先は、コマンドに「/fl"(作成先絶対パス)¥setup.iss"」を追加することで変更可能です。
 - ※ 作成先を変更しない場合は、C:¥windows に setup.iss が作成されます。
 - ※ 作成先に既に setup.iss が存在している場合は、これを削除してから手順 4.を実行してください。
 - 入力コマンド例:

- ※ 上記例は、C:¥Agent に応答ファイルを作成する場合のものです。
- ※ △は半角スペースを表します。
- 5. 画面操作に従って ConsoleDA Agent For Server のインストールを行います。
- 6. ConsoleDA Agent For Server のインストール完了後、「C:¥windows」フォルダーに応答ファイル setup.iss が作成されます。 (手順 4.で作成先を指定した場合は、指定先に setup.iss が作成されます。)
- 7. サイレントインストールを実行するマシンに AgentForServerSetup.exe と作成した応答ファイル setup.iss をコピーします。コピーが済みましたら、元の setup.iss は削除しておいてください。
- 8. サイレントインストールを実行するマシンでコマンドプロンプトを実行し、AgentForServerSetup.exeとsetup.issをコピーしたフォルダーに移動して、以下のコマンドを実行するとサイレントインストールが開始されます。

C:¥Agent≻ AgentForServerSetup.exe∆/s

※ 上記例は、インストーラーと応答ファイルを C:¥Agent に配置した場合のものです。

※ △は半角スペースを表します。

3 ConsoleDA Agent For Serverのアンインストール

3-1 アンインストール

・ConsoleDA Agent For Server をアンインストールするには、次のように操作します。

1. [コントロールパネル]-[プログラムと機能]を開き、ConsoleDA Agent For Server を選択して「アンインストール」ボタンをクリックしてく ださい。



2. 確認ダイアログが表示されたら「はい(Y)」をクリックして、ConsoleDA Agent For Server をアンインストールしてください。



3. 「アンインストール完了」が表示されたら、「完了」をクリックしてアンインストールを終了してください。



3-2 サイレントアンインストール

・ConsoleDA Agent For Server のサイレントアンインストールを行うには、次のように操作します。

- 1. Hitachi bd Link Version3 /SV インストールメディアの Installer フォルダーにある AgentForServerSetup.exe を、ConsoleDA Agent For Server がインストール済みのブレードサーバの任意のフォルダーにコピーします。
- 2. ブレードサーバに管理者権限を持つユーザーでログオンし、コマンドプロンプトを起動します。
- 3. AgentForServerSetup.exe をコピーしたフォルダーに移動します。
- 4. 「AgentForServerSetup.exe△/r」を入力・実行し ConsoleDA Agent For Server インストーラーを起動します。
 - ※ 応答ファイルの作成先は、コマンドに「/f1 "(作成先絶対パス) ¥uninstall.iss"」を追加することで変更可能です。
 - ※ 作成先を変更しない場合は、C: ¥windows に setup.iss という名前で応答ファイルが作成されます。
 - ※ 作成先に既に setup.iss または uninstall.iss が存在している場合は、これを削除してから手順 4.を実行してください。 入力コマンド例:

C:Agent AgentForServerSetup.exe $\Delta/r\Delta/f1$ "C:Agent uninstall.iss"

- ※ 上記例は、C:¥Agent に応答ファイルを作成する場合のものです。
- ※ △は半角スペースを表します。
- 5. 画面操作に従って ConsoleDA Agent For Server のアンインストールを行います。
- 6. ConsoleDA Agent For Server のアンインストール完了後、「C:¥windows」フォルダーに応答ファイル setup.iss が作成されるので、フ ァイル名を uninstall.iss に変更してください。
- 7. サイレントアンインストールを実行するマシンに AgentForServerSetup.exe と作成した応答ファイル uninstall.iss をコピーします。コ ピーが済みましたら、元の uninstall.iss は削除しておいてください。
- 8. サイレントアンインストールを実行するマシンでコマンドプロンプトを実行し、AgentForServerSetup.exe と uninstall.iss をコピーした フォルダーに移動して、以下のコマンドを実行するとサイレントアンインストールが開始されます。

C: $Agent > AgentForServerSetup.exe \triangle / x \triangle / s \triangle / f1".$ uninstall.iss"

※ 上記例は、インストーラーと応答ファイルを C:¥Agent に配置した場合のものです。

※ △は半角スペースを表します。

4 環境設定ファイル

環境設定ファイル名:Agent.exe.config

既定のファイルパス:C:¥Program Files¥Hitachi¥ConsoleDA Agent

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
```

<configuration>

 $<\!\!\text{configSections}\!>$

<section name="agentConfig"</pre>

type="Hitachi.ConsoleDA.Agent.Configuration.AgentConfigSection, Agent.Common,

```
Version=3.1.0.0, Culture=neutral, PublicKeyToken=null" />
```

 $<\!\!/\text{configSections}\!>$

<agentConfig remotingPort="60001"① modelVersion="0000100510"② logKeepDays="7"③>

<managers>

<manager address="192.168.0.1:60000" (4) />

<manager address="192.168.0.2:60000" (5) />

</managers>

</agentConfig>

<appSettings>

```
<add key="ExcludeMac" value="005056,02004C" ) />
```

</appSettings>

 $<\!\!/\text{configuration}\!\!>$

#	設定項目	既定値(設定範囲)	説明	備考
1	remotingPort	60001(1~65535)	ConsoleDA Agent For Server のコマンド受信用ポート番号。	
2	modelVersion	model-version-string	ConsoleDA Agent For Server が稼働している PC のモデル バージョン文字列。	
3	logKeepDays	7(1以上)	トレースログファイルの保存期間。	単位:日
4	address	manager-ip-address:port	ConsoleDA Manager が稼働する PC の IP アドレスとコマンド 受信用ポート番号。	
5	address	manager-ip-address:port	冗長構成にしている場合、副 ConsoleDA Manager が稼働する PC の IP アドレスとコマンド受信用ポート番号を入力します。	
6	value	005056,02004C	ConsoleDA Manager への通知を行わないMACアドレスの上 6 桁。(仮想 NIC をお使いの場合など、適宜ここに値を設定 してシステム内に同一の MAC アドレス値が存在しないように してください。)	

※項目設定の文字列の大文字と小文字は区別されます。